

土砂災害から身を守るために、台風や大雨の際は、土砂災害に注意しましょう

土砂災害は、予測の難しい災害ですが、土砂災害から身を守るために国民の皆様を知っていただきたい3つのことについてお知らせします。

台風や大雨に備えて

①お住まいの場所が、土砂災害警戒区域か確認する。

都道府県では土砂災害のおそれがあり、警戒避難体制を整備すべき土地の区域を「土砂災害警戒区域」として指定を進めています。普段からお住まいの場所が土砂災害警戒区域に指定されているか、ハザードマップポータルサイト (<https://disaportal.gsi.go.jp/>) などで確認しましょう。あるいはお住まいの都道府県及び市町村に問い合わせください。

*ただし、土砂災害警戒区域等でない区域でも、土砂災害が発生する場合があります。付近に「がけ地」や「小さな沢」などがあれば注意しましょう。



雨が降り始めたら

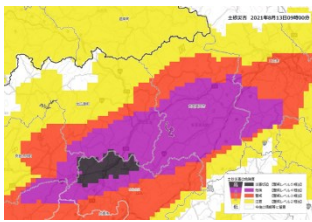
②土砂災害警戒情報や土砂キキクル、雨量の情報に注意する。

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨量の情報のほか、土砂災害警戒情報や土砂キキクルに注意しましょう。土砂災害警戒情報や土砂キキクルは、気象庁HPや、その他各都道府県のHPなどで確認できます。

- 土砂災害警戒情報:
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
- 土砂キキクル: <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>
- 各都道府県HPへのリンク集:
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/sabo_ken_link.html

都道府県によっては、携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を連絡するサービスもありますのでご利用ください。

土砂キキクル（メッシュ情報）



気象庁HPより

テレビ報道



出典：政府広報オンライン

豪雨になる前に

③大雨時や土砂災害警戒情報が発表された際には早めに避難する。夜間に大雨が予想される際は暗くなる前に避難する。

がけ下や溪流沿いなどにお住まいの方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された際には、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。

また、夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。お住まいの自治体の避難指示などの情報に注意して、早めの避難を心がけましょう。

なお、豪雨などで避難所への避難が困難なときは次善の策として、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、さらに困難な際は、家の中のがけから離れた部屋や二階などの少しでも安全な場所に避難しましょう。



避難